

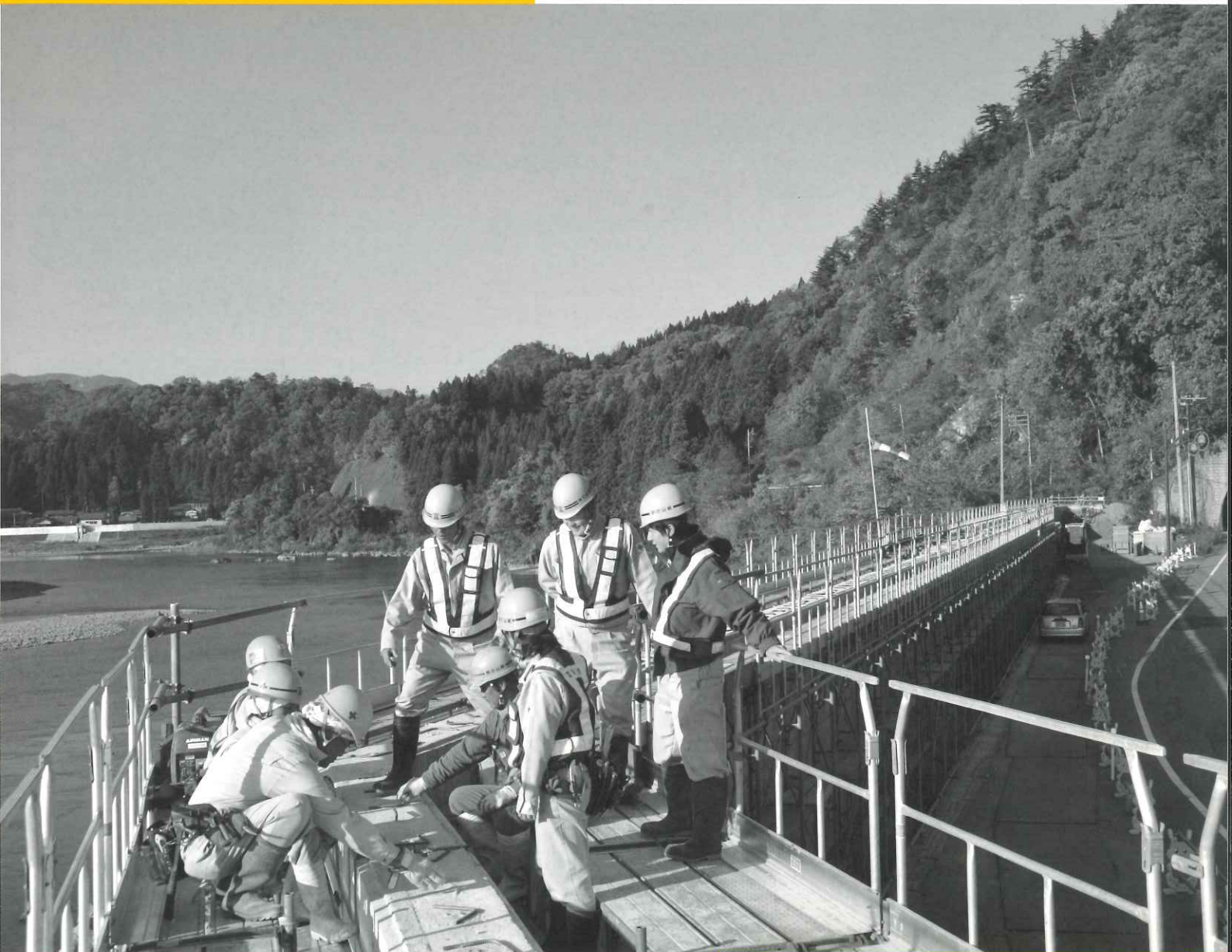
北陸の建設技術 平成30年5月10日発行 毎月1回10日発行
第28巻5号 通巻323号

VOL.323

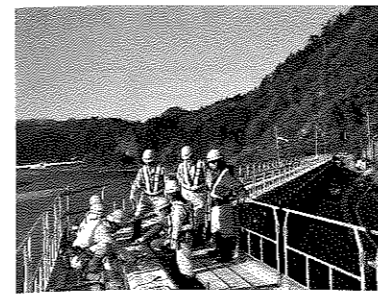
5

2018

北陸の建設技術



北陸地方建設事業推進協議会



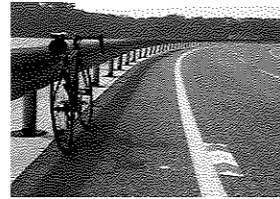
■「安心・安全川づくり」

紅葉の始まった広く澄んだ秋晴れの中、現場をちょっと覗いてみるとベテランと若手が互いに意見を出しながら話し合いをしていました。地域住民が『安心・安全』に暮らせるように、1日でも早く工事を終わらせるためのアイデアを出し合う、現場ながらの状況を1枚の写真に収めました。話し合いと工夫一つが降雪前の完工に結びつきました。

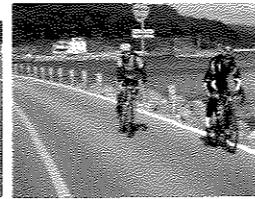
撮影場所：新潟県東蒲原郡阿賀町白崎地区 特殊堤嵩上補修工事
第21回建設写真コンテスト佳作 高橋 淳【H28.11撮影】

視点

- 1 高速道路の機能強化と安全性向上
■NEXCO中日本
金沢支社 保全・サービス事業部長 伊藤 公一



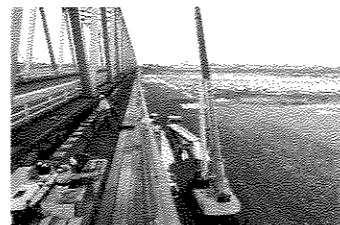
路面標示



奥能登ルート
(国道249号 能登町)▶P.3

地域の動き

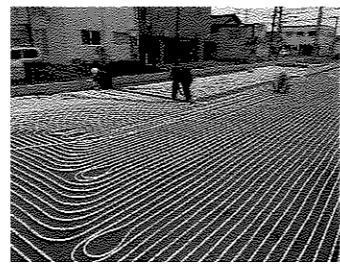
- 3 石川県のサイクルツーリズムの推進
いしかわ里山里海サイクリングルート
■石川県土木部道路整備課



庄川河川敷からの鋼床版
の架設状況▶P.5

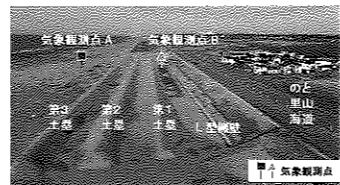
技術レポート

- 5 主要地方道坪野小矢部線砺波大橋の歩道拡幅工事について
■富山県砺波土木センター



PE管の敷設状況▶P.7

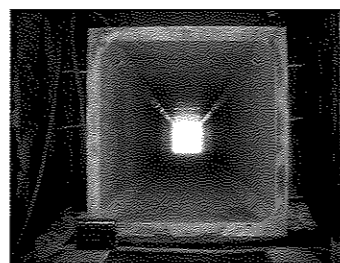
- 7 地下水を利用した無散水融雪技術
環境負荷とコストを低減した融雪設備
■北川ヒューテック(株)



対策状況(3列土壘対策)
▶P.11

- 11 堆積土砂を活用した3列土壘対策
のと里山海道における飛砂対策について
■(株)国土開発センター

- 13 魚津の中心市街地を浸水被害から守る
鴨川放水路による浸水対策について
■(株)関口組



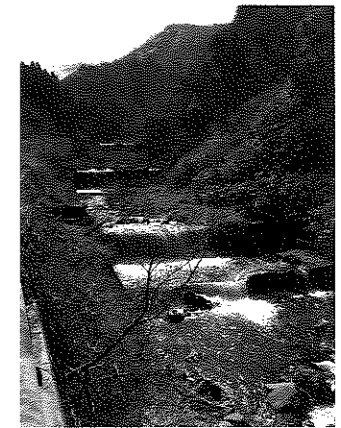
オープンシールド下部函体
掘付完了▶P.13

シリーズ 現場技術者の「知得」

- 17 工事・業務における受発注者の
コミュニケーションの向上について
■北陸地方整備局 企画部 技術管理課

職場紹介

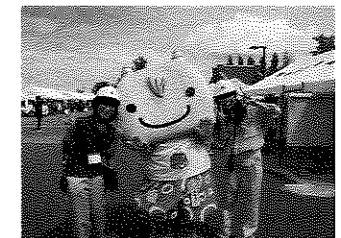
- 19 地域とともに発展して
山あい地域での小水力発電事業について
■(株)深松組北陸支店



小水力発電建設予定地
下流より▶P.19

先輩なう!

- 21 地域を守る土木の力
■新潟県 柏崎地域振興局 地域整備部
治水・港湾課 菅原 思織さん



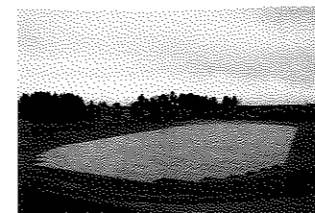
小学生お仕事体験塾に
参加した様子▶P.21

新技術情報

- 22 ■Made in 新潟 新技術普及・活用制度
・自在ブーム式構造物洗浄車 (MIクリーナー)
【登録番号:29D1003】(株)レックス
・芝生の直播被覆工法 (芝生のC&D工法)
【登録番号:29D2001】(有)アイ・ピー・エムグリーンステージ



自在ブーム式構造物洗浄車▶P.22



有孔ポリシート設置▶P.22



芝苗の直播▶P.22



トンネル清掃状況▶P.22

「北陸の建設技術」への意見、ご感想がありましたらお聞かせください。
E-mail:hokugi@hrr.mlit.go.jp

職場紹介

地域とともに発展して

山あい地域での小水力発電事業について

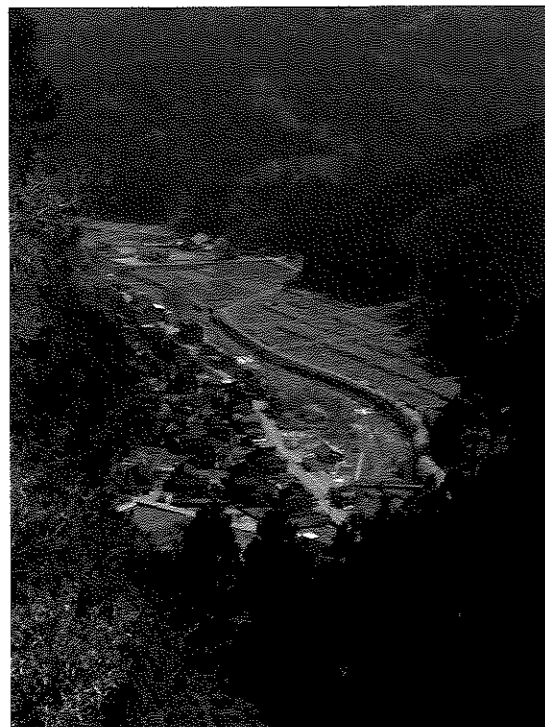
株式会社 深松組北陸支店

1. はじめに

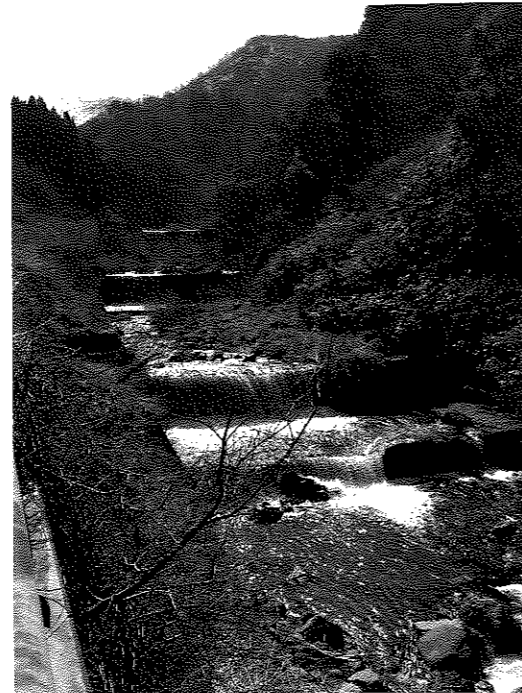
深松組は、創業者・深松幸太郎が富山県下新川郡朝日町で水力発電所建設の施工を機に大正14年に個人経営で設立いたしました。昭和28年に有限会社に組織変更し、それまで朝日町にありました本社を宮城県仙台市に移転いたしました。さらに昭和29年に株式会社へ組織変更し、現在に至ります。

今では本社、朝日町にある北陸支店のほかに、新潟支店（新潟市）上越営業所（新潟県妙高市）県北営業所（宮城県登米市）大所出張所（新潟県糸魚川市）に営業拠点があります。

北陸支店は「地元で愛される企業 地元から残ってほしいと言われる企業」を目指し、土木工事・建築工事をはじめアパート経営や太陽光発電などの再生エネルギー事業に積極的に取り組んでいます。



【朝日町笹川地区 全景】



【小水力発電建設予定地 下流より】

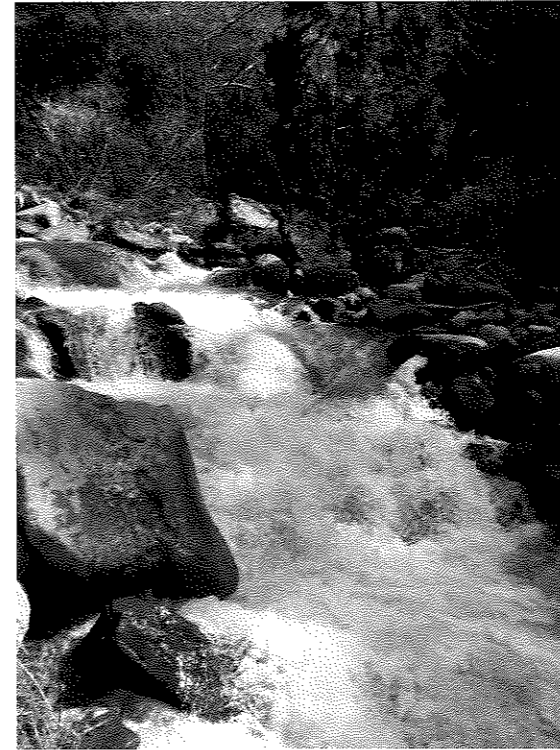
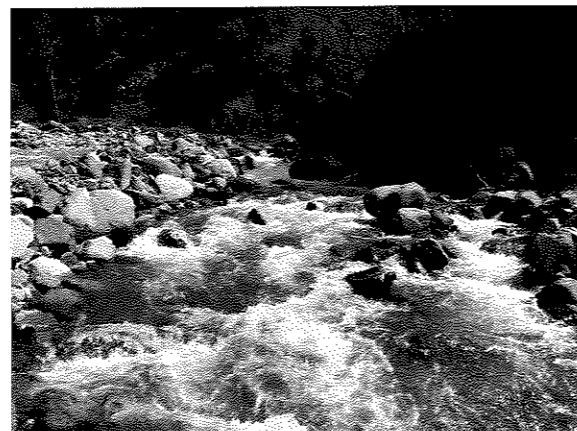
2. 地域とともに小水力発電を

朝日町笹川地区は朝日町の山あいの集落で現在100世帯余りが生活をしています。過疎化に伴い地域のインフラ整備は大きな課題です。特に上水道は笹川自治振興会が管理する簡易水道ですが、施設の老朽化が進み機器の更新費用が居住者負担となっており、その負担を抑制することが課題となっていました。

創業者のルーツがこの笹川地区にあり、笹川地区の水道の現状を知った当社が水道関連施設の新設や維持管理費を確保するため、小水力発電事業と組み合わせる手法を提案しました。

事業規模が大きいため笹川自治振興会と当社だけではなく、信託の手法を活用した地域活性化で実績のあるすみれ地域信託（岐阜県高山市）とともに事業スキームを考案しました。

すみれ地域信託（株）が発電事業者および水道施設保有者となり、地域小水力発電（株）（高知県香美市）が発電設備の設置や保守管理を担当します。



【北アルプスの雪どけ水が勢よく流れる 笹川】

当社は委託者および比較的高い利回りを得られる劣後受益者として参画するほか、関連する土木工事などを請け負います。

小水力発電は最大出力199キロワットの発電設備で地区中心部を流れる笹川に設置し、流量と落差を利用して発電をおこなうとともに、水道関連の設備を新設します。総事業費は5億円程度を見込んでおり、自己資本だけでなく金融機関からの融資で賄います。北陸電力への売電収入をもとに融資の返済をするほか、委託者への配当も確保します。

すでに地元笹川地区と事業開始で合意しています。発電設備設置に伴う漁業権や水利権の調整も終わっています。今後は2018年に詳細な調査をおこない、2019年に着工、2021年に発電開始を予定しています。

この小水力発電事業は当社の事業の多角化の一環という位置づけがあり重要な事業であるとともに、社会資本整備のかたちで地域に貢献できるとも有意義なものであると思っています。

●問い合わせ先

株 深松組北陸支店

TEL (0765) 83-1180

笹川プロジェクト事業概観図

